

平成17年10月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結） 平成17年9月5日

上場会社名 ファースト住建株式会社

(コード番号：8917 大証二部)

(URL <http://www.f-juken.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 中島 雄司 (TEL：(06)4868-5388)
 責任者役職・氏名 常務取締役管理部長 伊丹 千穂子

1 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 法人税等の計上基準については見積実効税率を使用しております。
- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2 平成17年10月期第3四半期の財務・業績の概況（平成16年11月1日～平成17年7月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年10月期第3四半期	24,891	(△1.5)	2,973	(-)	2,911	(-)	1,731	(-)
16年10月期第3四半期	25,277	(48.4)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16年10月期	35,188		4,577		4,448		2,573	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年10月期第3四半期	102	46	-	-
16年10月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年10月期	158	69	158	62

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 当事業年度より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っておりますので、売上高を除いた前年同四半期の実績および対前年同四半期増減率についての記載は行っておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、原油価格が過去最高水準を更新するなど引続き先行きに不透明さはあるものの、世界経済の着実な回復に伴って企業部門の好調さは持続しており、家計部門においても雇用情勢の改善が家計の所得改善につながりつつあり、個人消費が緩やかに回復し始めてまいりました。

一方、当不動産業界におきましては、バブル崩壊以後地価の下落が続いておりましたが、企業による遊休資産の処分が一段落したことや不動産投資信託市場の拡大を背景として、用地取得における競争が激しくなり、大都市周辺などの一部地域では地価が上昇に転じております。

このような状況の中で、当社は激化する競争に打ち勝つべく市場シェアを拡大していくために一層の営業力強化を目指し、営業部門における人員の拡充を主とした取り組みを行なってまいりました。しかしながら、土地仕入に営業努力を傾注したにもかかわらず、その販売面における効果を当第3四半期において発揮するまでにはいたりませんでした。

この結果、当第3四半期の売上高は248億91百万円（対前年同期比1.5%減）となり、営業利益は29億73百万円、経常利益は29億11百万円、四半期純利益は17億31百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年10月期第3四半期	20,776	9,133	44.0	540 45
16年10月期第3四半期	—	—	—	— —
(参考)16年10月期	18,199	7,744	42.6	456 99

(注) 1. 当事業年度より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っておりますので、前年同四半期の実績についての記載は行っておりません。

【キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年10月期第3四半期	△4,369	△46	1,729	4,920
16年10月期第3四半期	—	—	—	—
(参考)16年10月期	2,032	128	1,686	7,606

(注) 1. 当事業年度より第3四半期財務・業績の概況の開示を行っておりますので、前年同四半期の実績についての記載は行っておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は207億76百万円、純資産は91億33百万円、自己資本比率は44.0%となりました。

また、当第3四半期末における現金及び現金同等物は49億20百万円となり、前期末に比べて26億86百万円減少しております。各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、43億69百万円となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益29億11百万円を獲得する一方で、たな卸資産の手当てによる支出53億82百万円および法人税等の支払21億41百万円を行なったことであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、46百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産取得による支出41百万円を行なったことであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、17億29百万円となりました。その主な要因は、短期借入金増加による収入20億46百万円があったことであります。

3 平成 17 年 10 月期の業績予想（平成 16 年 11 月 1 日～平成 17 年 10 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	34,000 <small>百万円</small>	3,800 <small>百万円</small>	2,100 <small>百万円</small>

（参考） 1 株当たり予想当期純利益（通期） 122 円 99 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第 3 四半期の営業状況は、近畿圏における競争の激化、販売価格の低下や土地価格の上昇等により、売上高は対前年同期比で 1.5%減少いたしました。第 4 四半期におきましてもこの傾向は継続するものと考えられ、売上高、経常利益、当期純利益及び 1 株当たり当期純利益（通期）につきましては、平成 17 年 6 月 3 日公表の予想数値を下回る見通しとなりました。

（業績予想の利用に関する留意事項）

※ 上記に記載した予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況等の変化により、上記数値と異なる場合があります。

以 上

○添付資料

（要約）四半期貸借対照表、（要約）四半期損益計算書、（要約）四半期キャッシュ・フロー計算書

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(千円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成17年10月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成16年10月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成16年10月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金額 (千円)	増減率	金 額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	4,920,616	—	—	—	7,606,824
2. たな卸資産	15,054,932	—	—	—	9,672,503
3. 前渡金	168,834	—	—	—	145,570
4. その他	107,853	—	—	—	266,321
流動資産合計	20,252,236	—	—	—	17,691,219
II 固定資産					
1. 有形固定資産	439,668	—	—	—	432,515
2. 無形固定資産	5,452	—	—	—	4,957
3. 投資その他の資産	79,503	—	—	—	70,552
固定資産合計	524,624	—	—	—	508,025
資産合計	20,776,861	—	—	—	18,199,244
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形	1,881,210	—	—	—	1,890,550
2. 工事未払金	2,067,565	—	—	—	1,879,153
3. 短期借入金	6,892,100	—	—	—	4,845,600
4. 未払法人税等	370,920	—	—	—	1,382,383
5. 前受金	132,110	—	—	—	173,910
6. その他	241,735	—	—	—	242,613
流動負債合計	11,585,642	—	—	—	10,414,209
II 固定負債					
1. 退職給付引当金	11,610	—	—	—	6,482
2. 役員退職慰労引当金	46,200	—	—	—	34,000
固定負債合計	57,810	—	—	—	40,482
負債合計	11,643,453	—	—	—	10,454,691
(資本の部)					
I 資本金	1,584,000	—	—	—	1,584,000
II 資本剰余金	1,338,350	—	—	—	1,338,350
III 利益剰余金	6,211,652	—	—	—	4,822,679
IV 自己株式	△595	—	—	—	△476
資本合計	9,133,407	—	—	—	7,744,553
負債及び資本合計	20,776,861	—	—	—	18,199,244

2. (要約) 四半期損益計算書

(千円未満切捨)

科 目	当四半期 (平成 17 年 10 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 16 年 10 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 平成 16 年 10 月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金額 (千円)	増減率	金 額 (千円)
I 売上高	24,891,148	25,277,400	△386,252	△1.5%	35,188,965
II 売上原価	20,533,677	—	—	—	28,822,318
売上総利益	4,357,470	—	—	—	6,366,646
III 販売費及び一般管理費	1,384,285	—	—	—	1,789,235
営業利益	2,973,185	—	—	—	4,577,411
IV 営業外収益	3,828	—	—	—	42,042
V 営業外費用	65,386	—	—	—	171,332
経常利益	2,911,628	—	—	—	4,448,120
税引前四半期 (当期)純利益	2,911,628	—	—	—	4,448,120
法人税、住民税 及び事業税	1,180,058	—	—	—	1,874,705
四半期(当期)純利益	1,731,569	—	—	—	2,573,415

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(千円未満切捨)

区 分	当四半期 (平成 17 年 10 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 16 年 10 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 16 年 10 月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	2,911,628	—	4,448,120
減価償却費	25,463	—	32,009
引当金の増加額	17,328	—	18,724
受取利息及び受取配当金	△411	—	△986
支払利息	57,792	—	141,956
たな卸資産の増加額	△5,382,428	—	△1,735,559
前渡金の増減額(増加:△)	△23,263	—	164,581
その他流動資産の増減額(増加:△)	86,657	—	△6,280
仕入債務の増加額	189,348	—	559,355
前受金の減少額	△41,800	—	△102,523
その他流動負債の増減額(減少:△)	△4,959	—	58,512
その他	△6,680	—	△3,848
小 計	△2,171,324	—	3,574,063
利息及び配当金の受取額	411	—	986
利息の支払額	△56,814	—	△122,934
法人税等の支払額	△2,141,762	—	△1,419,610
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,369,490	—	2,032,504
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金・積金の純減少額	—	—	198,100
有形固定資産の取得による支出	△41,752	—	△61,900
その他	△4,918	—	△7,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,670	—	128,857
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増加額	2,046,500	—	493,700
株式の発行による収入	—	—	1,852,674
長期借入金の返済による支出	—	—	△500,000
配当金の支払額	△316,427	—	△159,414
その他	△118	—	△476
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,729,953	—	1,686,483
IV 現金及び現金同等物換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△2,686,207	—	3,847,846
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,606,824	—	3,758,977
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,920,616	—	7,606,824